

## 地域支援部の発足

# つなぎ役として

近森リハビリテーション病院  
地域支援部 部長 小笠原 正



この度、近森リハビリテーショングループにおける、在宅サービスの調整、提供機関として、地域支援部の体制が見直されることになりました。

地域支援部では、

1. 近森リハビリテーショングループの一部署として、近森病院、近森リハビリテーション病院を中心とする医療機関との連携を図る。
2. 在宅サービスの提供機関として、在宅障害者に対し効率的、効果的な

サービスを提供する。

3. 独立した部門として、サービスの質の向上に努める。
4. 独立した部門として経営基盤を確立し、安定した組織運営を図る。
5. 近森リハビリテーショングループ内での、維持期リハビリテーションにおける教育機関として運営する。

以上5項目を基本方針としています。また組織図上の位置づけは、近森リハビリテーション病院内で、近森リハビリテーション病院院長直属の部署として運営される予定です。所属部署としては、

1. 訪問リハビリテーションちかもり
2. 訪問看護ステーションちかもり
3. 高知市北部高齢者支援センターえのくち出張所
4. 高知市障害者相談支援センターちかもり

の4部署となっており、さらに高知ハビリテリングセンターへのリハ専門職の出向に関する窓口業務も行う予定です。

地域支援部の事業所は、訪問看護ステーションちかもり（本年度より愛宕町シー・エイチ・アイビル4Fに移動「図参照」）以外は、近森リハビリテーション病院内にありますが、各部署とも事務所が離れており、また業務は訪問がメインとなるため、病院職員との接点も少なくなりがちです。そこで、私がこのようなデメリットを克服できるよう、スタッフや、各事業所、病院とのつなぎ役となるように動ければと考えております。

これから色々ご迷惑を掛けることもあると思いますが、宜しくお願い致します。



### シー・エイチ・アイビル

- 5階 ヘルパーステーションえのくち 居宅介護支援事業所ゆう
- 4階 訪問看護ステーションちかもり 高知心理療法研究所
- 3階 社会福祉法人ファミーユ高知 グループホーム「ポルト」
- 2階 社会福祉法人ファミーユ高知 障害者福祉サービスセンターウェーブ
- 1階 社会福祉法人ファミーユ高知 障害者福祉サービスセンターウェーブ POCO A POCO

## 6月の歳時記 カラー

近森病院4階西病棟  
看護師長 浜口 富代



「カラー」別名（オランダカイウ）サトイモ科（南アフリカ原産）。花言葉は「乙女のしとやかさ」「凛とした美しさ」など。

日本には江戸時代にオランダ船によって持ち込まれました。直立した長い花茎の先にカラフルなサトイモ科特有の仏炎苞に包まれた花序をつけます。

名前の由来はこの花の仏炎苞が修道女のカラー（衿）を思わせることからついたそうです。



絵・総務課 公文幸子

● 第 65 回地域医療講演会 (西原利治先生)

# 生活習慣病としての 非アルコール性脂肪性肝炎 (NASH)

近森病院消化器内科 主任部長 栄枝 弘司



西原利治先生



向かって左から3人目が筆者

平成 22 年 4 月 16 日、ホテル日航高知旭ロイヤルにて NASH 研究の第一人者である高知大学消化器内科学教授の西原利治先生により「生活習慣病としての非アルコール性脂肪性肝炎 (NASH)」をテーマにして地域医療講演会が開かれました。

NASH は、1980 年にアメリカの病理学者により命名され、アルコールを飲まない人が、内臓肥満をベースとした脂肪肝に炎症が持続して、アルコール性肝炎と同じ組織像を示し、徐々に進行して肝硬変や肝臓に至る可能性がある病気です。

西原教授のお話では、『日本での罹患数は人口の約 1%、約 100 万人と推定される。肥満、糖尿病、脂質異常、高血圧などのいわゆる生活習慣病も合併していることが多く、NASH の 88% が内臓脂肪蓄積型肥満 (内臓肥満) を有し、62% がメタボリックシンドロームの診断基準を満たすことから、メタボリックシンドロームの肝臓での表現型が NASH ともいえる。

また肥満、糖尿病、高血圧、高齢が肝発癌の危険因子』であり、脂肪肝・NASH では、肝硬変や肝発癌を念頭に置いた治療介入と定期検査が重要であることと、その他の生活習慣病の治療の必要性を強調されました。治療の基本は食事療法と運動療法による減量であり、瀉血療法と鉄制限食も有効な例が多いことなどを実際の症例に基づい

てわかりやすく説明されました。

脂肪性肝疾患は、かつては肝硬変や肝臓にはならないとされ軽視されがちでしたが、この飽食の時代にあって増

加の一途をたどっており、NASH によると思われる肝臓の報告も増加していることから、治療と定期検査の重要性を再認識しました。

● 第 66 回地域医療講演会 (勝尾信一先生)

## バリエーションを使いこなせ！

クリニカルパス委員会副委員長  
近森病院整形外科 科長 西井 幸信



勝尾信一先生

「バリエーションを使いこなせ！」という演題で、4 月 22 日に第 66 回地域医療講演会が近森オルソリハビリテーション病院 8 階会議室で行われました。バリエーション分析に特化した core な講演でしたが、院内外からの 77 名の方に出席していただきました。院外からも約半数の出席をいただきました。

講師の勝尾信一先生は日本クリニカルパス学会の評議委員をされており、福井総合病院でオールバリエーション方式のバリエーション分析をされていますが、その分析については日本で最も積極的に行っておられる一人であります。

全病院的にバリエーション収集・分析をシステム化して行い、クリニカルパスを医療マネジメントツールとして使いこなしておられます。特にバリエーション要因分類を患者、医療者・病院、社会、治験の四つに分類し、さらにそれぞれ



向かって左から3人目が筆者

をいくつか分けてコード化しており、バリエーション分析基本方針表としてバリエーションが発生したときの対応方法、対応内容についても院内で統一しております。

当院でもバリエーション分析をパス委員会として取り組んできていますが、まだまだ不十分なところが多いと痛感いたしました。

福井総合病院では年 1 回、1 泊 2 日の温泉宿泊研修 (クリニカルパス入門講座 in スパ)、通称パスパを開催しており、職種、経験年数を問わず、院外からの参加も受け入れています。近森病院からは今までのところ参加者はいないようですが、全国的に人気があり、今回の講演を機会に近森病院からもパス委員会を中心に参加を呼びかけたいと思います。

講演の後、フロアからの質問も多くみられ、短い時間ではありましたが、参加した方々は普段疑問に思っていることに対する答えの糸口がみつきり、バリエーション分析についての理解が深まった有意義な講演会になりました。近森会グループパス委員会としてもバリエーション収集・分析のシステム化をめざしているところですが、今回の講演会を生かしてさらに発展させていきたいと思っています。

4 月 10 日夜、JR 八王子駅で倒れた心肺停止状態の男性に、適切な救護処置を施したとして東京消防庁および JR 東日本より感謝状が贈られました。

近森病院 5 階西病棟 池永 利江

専門看護師協議会の総会が 4 月 10 日、聖路加看護大学であり、休みをいただき、参加させていただきました。職場の理解が無ければ、このような場に遭遇する事は無かったでしょうし、この感謝状と一緒に働く上司、先輩、同僚の皆さんでいただいたものだと思っています。いち早く仕事に慣れ、近森会に貢献できるよう頑張りたいと思います。



写真は東京消防庁での記念写真

## ● 第67回地域医療講演会（椿原彰夫先生）

嚥下障害のリハビリテーション  
～ TOPICS を含めて～

近森リハビリテーション病院 科長 和田 恵美子



椿原彰夫先生



向かって右端が筆者

4月30日に川崎医科大学リハビリテーション医学教室の椿原彰夫先生をお迎えして第67回地域医療講演会が開かれました。院内外からの131人と多くの参加者の中で、「嚥下障害のリハビリテーション」と題して急性期、回復期、生活期のアプローチについてわかりやすく講演して頂きました。

嚥下リハビリテーションは治る、治らないではなく、どのように対処すれば少しでも摂食可能となり得るかを考えることが肝要です。急性期では徹底した口腔ケア、的確な機能評価、廃用予防（義歯を早期から装着など）が必要となります。

十分な栄養管理も必要となりますが、経鼻胃管は早期に抜去したいジレンマも抱えています。持続した経管栄養では喉頭の変形などの合併症があり、奥で交差した経管栄養チューブはのどの動きを阻害してしまいます。そのため長期の症例では、胃瘻での半固形経腸栄養剤の管理も行われています。

口を通らない食物は胃の受け入れの準備（胃が拡張すること）が不十分となってしまうことや、ゆっくりした速度での注入で逆に胃の律動的収縮（小腸へ送り出す運動）が妨げられてしまうことなど、経管栄養での注意点がたくさん挙げられていました。

回復期では多職種が連携してのアプローチが重要になりますが、なによりも全身耐久性を向上させる必要性があります。その上で嚥下造影や嚥下内視鏡を行い、各患者さんに最適な間接、直接の訓練を行います。最近のトピックスとしてボツリヌス毒素により輪状咽頭筋ブロックを行っているそうです。

また生活期（維持期）では期間も長く、機能が良くなっていく患者さんも多く、一方で脱水や睡眠薬、感染症などで悪化の危険性の高い患者さんも多く見られます。生活期での連携が今後の課題にあげられました。

詳細な内容に関しては椿原先生のご

著書『やさしい嚥下障害の診療（永井書店 2006年刊 3800円）』をぜひご

参照ください。わかりやすくおすすめです！

看護部 **キラリと光る看護 part2**

## 次世代育成支援企業の認証

近森会グループ 統括看護部長 梶原 和歌

少子化問題は今や日本の国全体の問題で、高知県でも子どもを産み育てやすい環境づくりに力をいれています。今年近森会は「次世代育成支援企業」として県から認証書を交付されました。とくに男性が育児休暇を取得しているという点で注目されたようです。他の業種に比べ「世話をする」という行為に抵抗を感じないニュートラルな人が医療畑に多いという実績でしょうか。

本当に優しい男性が多く、子どもの病気、妻の発熱などの理由で休暇申請は出るし、家事育児を共同でおこなっているようです。直感で感じるのは「妊娠ウイルス」は実在するらしく、ある部署でおめでたが出ると次々感染者が現れるので補充にドキドキです。2007年看護職員の出産者は25名、2008年が21名、2009年は30名、2010年は5月現在すでに25名で、確実に増加しており喜ばしいことです。

98%の職員が育児休暇を1年は取っており、復帰後の夜勤をする、しないは当事者が選択します。24時間託児の院内保育所が充実していることが重要なカギです。来春にはホテルサンルート跡地に建つ管理棟（仮称）5階に引っ越し、子ども庭園もできるよう楽しみます。

今回は素敵なママさん

ナースがいるので紹介します。彼女は履歴書の志望動機欄に「子どもができて働きやすいこと」と書いていました。20代で3人の男の子を出産、30代で4人目の男子、そして今40代で5人目のお子さんを妊娠中です。自分の病気で休むことはなく、4人すべて母乳でりっぱに育て上げ、家が近いから続けられましたと涼しくいうけれど、実際は子どもをおんぶして自転車で20分の通勤を軽々とこなし、看護のお仕事もきちんとできるタフな方です。彼女の夫は当会精神科の看護師で「乳幼児の精神発達にはお母さんの存在が一番!」と考えているのかどうか、悠然と父性を発揮して、あまり育児の手伝いをしないという評判です。しかし妻のナースから非難の言葉を聞いたことはありません。昔ながらの日本の家庭？ さて現在の標準は？



託児所で見かけたお弁当



高知県商工労働部高松清之部長と、認証書を持っているのは二児のママさんでもある総務課佐々木美規主任

## CS チーム発足

覚えて下さい  
CS チーム

近森病院臨床工学部 ME 室

臨床工学技士 嶋崎 啓太

現在、当院の臨床工学技士は 24 名います。働いている場所や呼ばれ方は様々で、透析室（透析さん・ME さん）・OP 室（ACE チーム）・ME 室（ME さん）がありますが、どれも「臨床工学技士（臨床工学部）」になります。それぞれ、ME 機器のスペシャリストでフットワークの軽さが売りの部署です（自称ですけどね）。

この度、心臓カテーテル室で「カテーテル検査をしている医師の直接介助」を行う業務をさせていただくことになりました。これまでは医師 2 名で行っていたカテーテル検査を、わたしたちが介助をすることにより、約 8 割の検査、および治療を医師 1 名で行えるようになりました。

また、看護師が行っていた患者搬入や検査の準備、後片付け、検査技師が行っていた検査機器の準備などの補助もしています。これにより、「カテーテル検査をより効率的に行うことが出来るようになった」と、他職種の方からいただいき、チーム医療に貢献出来ていると実感しています。

カテーテル室勤務の臨床工学技士が 3 名となり、この場を借りて新し



左から豊永哲郎、嶋崎啓太、西森久恵

いチーム「CS チーム」が発足したことをお知らせします。直訳しますと Cardiac Support（心臓 [治療] の補助）チームとなります。

また、心臓カテーテル検査以外にも、末梢カテーテル治療や、ペースメーカーの植え込み、電池交換、ME 機器のメンテナンスなど、様々なサポートが出来るチームになりたいと思っております。皆さんどうかよろしくお願ひします。お気軽に「CS さん♪」と呼んでください。

## お知らせ

## ● 第 70 回地域医療講演会

「心房細動の外科治療」

日本医科大学第二外科学教室

心臓血管外科教授 新田 隆 先生

日時：7月9日（金）18：30～

場所：高知パレスホテル

## ● 第 71 回地域医療講演会

「診療国際化に本当に必要なもの」

日本大学医学部医学教育企画・

推進室助教 押味 貴之 先生

日時：7月20日（火）18：00～

場所：近森リハビリテーション病院

7 階会議室

## 管理部長の

## こだわりヘルシー美食 16

近森会グループ 管理部長

川添 昇

先日、臨床栄養部の M 澤部長より故里長野のお土産にワインをいただいた。08 年のシャルドネ 100% だった。そしてとっても美味しかった。少し酸味はあるもののフルーティーな甘みと香りがしっかりしていて、鱈やキハダマグロ（オリーブオイルで浸した）の刺身などに相性ピッタリであった。

ウーム、端倪すべからざる信州ワインと部長である。

最近、食品の産地偽装がとかく囂（かまびす）しいが、南米産を混ぜて国産と偽ったワインが出回るほどでレベルが非常に上っていることも頷ける。

今回は旬の「鯛の昆布締め」



画・臨床栄養部科長 吉田 妃佐

## 〈作り方〉

- ① 30 cm までの小ぶりの鯛一尾のウロコを取り三枚におろし、四切れのサクにする。（魚屋さんに頼んでも）
- ② 昆布は出来るだけ上等のものを三枚、鯛の長さに合わせて切りそのままサクを交互に二切れずつ挟み込む。
- ③ サランラップをきっちり巻き込み、かるく輪ゴムで止め、冷蔵庫に半日、できたら一昼夜入れておく。

## 〈食べ方〉

ラップを外し、昆布を取ると、粘りけの糸を引きながら黄金色の身切れが現れる。皮付きのまま薄造りにする。一切れ目は塩だけで食す。旨味と甘みが混然一体となって、土佐の酒とともに喉を越えて行く。それから後は、オリーブオイル、ワサビしょう油、レモン等々お好みで食す。冒頭の信州ワインも合いそうである。そのうち、桜鯛のように頬を染めることにならないか。

## 私の趣味

## 空手

## 日々精進する志

近森病院 5 東病棟

浅川 夏美



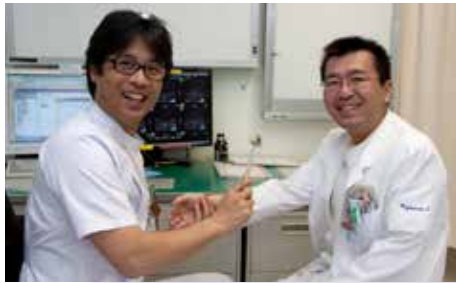
向かって左から 2 人目が筆者

私は友達の誘いがきっかけで小学 6 年の頃から空手を続けています。当時始めたばかりの頃は、基礎練習ばかりで師匠の激しい怒鳴り声とともに、時にはげん骨が飛んでくるときもありました。練習がしんどくて友達とズル休みをしたり、師匠に口答えてしまうこともありました。

そんな中、一緒に練習していた友達が辞めていき、次第に自分も辞めてしまいたい気持ちが強くなることもありました。そんな私が続けてこられたのは、初めて出場した空手の大会で 3 位に入賞したことがあった

からです。練習の辛さを超えるほどの嬉しさを味わったことを今でも忘れられません。

そんな私も現在では後輩の指導をする立場となり、教えることの難しさを痛感しています。今まで空手を続けてきて、何事においても基礎を忘れず日々精進していく志を持つことを学びました。日々進歩していく医療、そして看護においても基礎を忘れることなく前向きに取り組んでいく姿勢を忘れずにしていきたいと思ひます。



向かって左の上田英輝  
部長と宮澤慎一科長

# 乞！熱烈応援

## プレッシャーと戦いながら

近森病院整形外科 科長 宮澤 慎一

2008年4月より近森病院整形外科で勤務させていただくこととなり早くも2年が経ちました。整形外科界でも有名な近森病院整形外科（現在 AO 財団 fellowship unit）に赴任した際には大病院のシステム、電子カルテなどになかなか慣れることができず、皆さまに多大なご迷惑をおかけしてきたことと思います。

そんななか、本年4月16日付けで整形外科科長の辞令を頂きました。現在は科長となったプレッシャーと戦いながら日々の診療、手術をこなしている状態です。

整形外科の先輩部長（衣笠統括部長、西田・道中・上田部長、西井科長）の実力には遠く及ばないかもしれませんが自分のおかれたポジション（部長と若手医師とのつなぎ役…いわゆる中間管理職？）を意識し頑張っていくつもりです。

これからもよろしくお願いたします。

## 専門を選ばない専門医

近森病院整形外科 部長 上田 英輝

4月より整形外科部長職を拝命いたしました。急性期治療強化に伴う近森病院改築計画が進行している折の就任であり身の引き締まる思いです。

現在、整形外科では急性外傷治療の他にも慢性変性疾患の手術なども増えています。そこで「先生の専門は何ですか？」とよく問われるのですが、専門（自分の好きなこと）を選び好んでいる場合ではないので「整形外科の専門医です」と答えています。急性期のどんな外傷や骨折でも、はたまた慢性の膝痛や腰痛、なんでも治してあげますよ、それが整形外科専門医だと考えています。

「狭く深く」よりは「広く深く」がイイに決まっています。でもそれがいつの間にか「広く浅く」になってしまわないよう、月並みですが初心を忘れず、名に恥じぬ仕事をしてきたいと思っています。

## 作業療法の楽しさを伝えながら

近森リハビリテーション病院作業療法科 主任  
森沢 三重（代表執筆）

4月1日に5名のスタッフが主任心得の辞令をいただき、新たな気持ちで今年度をスタートしました。

作業療法科は、今年17名の新人スタッフを迎え、総勢94名となりました。作業療法は生活障害の改善を目標とし、ADLを多面的に評価し訓練することで、より良い在宅生活を送れるよう支援します。そのため、さまざまな分野の知識、技術が必要となります。スタッフ数は増えたものの若いスタッフが多く、知識、技術ともにまだまだ未熟なのが現状です。今後は「質の向上」が大きな課題となっています。

私たち5人はリハ病院、オルソ病院、訪問と所属部署はそれぞれ違いますが、これまでの経験と個性を活かし、患者さんの目線に立つことの大切さと、作業療法の楽しさを伝えながら課題に取り組んでいきたいと考えています。

まだまだ力不足な私たちですが、皆さまご指導よろしくお願いたします。

左より前列・森沢三重、西内めぐみ（リハ病院）、後列・矢野勇介（訪問看護）、土居英雄（リハ病院）、仲川健（オルソリハ病院）



向かって左より加納宏美、西森知佐、青木美和、中越昌浩（リハ病院）

## 心新たに励んでいきたい

近森病院理学療法科 主任 田中 健太郎（代表執筆）

本年5月1日付けで理学療法科7名は主任心得を拝命いたしました。

私事になりますが、近森会に入職し10年がたちました。周囲との協調はそこそこに、自分の興味あることばかりを自由にさせていただき、思えば帰宅の遅い時期もありましたが、出勤することが苦と感じたことが無いように思います。これも部長をはじめ諸先輩方のご指導と感謝しています。

今回の辞令を受け今後は管理、指導していくという自覚を持ち、心新たに業務に励んでいきたいと思っています。しかしながら、少々口下手のもので、まずは「背中を見せる」ことができるよう頑張ります。

最後に、まだまだ非力で皆様からのご指導を必要とする7名ではありますが、理学療法科ひいては近森会を利用される患者さんへ貢献できるよう努めますので今後とも宜しくお願いたします。

田村咲子（オルソリハ病院）

田中健太郎、明神麻衣（近森病院）



# 再認識で気持ちを新たに！

近森病院臨床栄養部 管理栄養士 三好 律子



2月8日～17日の10日間、アメリカ、ラスベガスで開催された ASPEN (米国静脈経腸栄養学会) と臨床栄養部の宮澤部長が留学されていたエモリー大学病院に行かせていただくという貴重な時間を頂戴しました。

まず ASPEN は教育講演が多く、どの講演でも



質疑応答が積極的に行われ、とても活気のある学会でした。アトランタにあるエモリー大学病院では、宮澤部長の留学時代の指導教官であった

Bergman 先生にアメリカでの栄養管理についてお話を伺いました。

入院期間が最長でも4、5日と短い期間での NST 活動となるため、対象者の問題点を短時間で把握し、栄養管理の方針を早急に立てる必要があります。栄養のプロとして当然のことかもしれませんが、自身の知識の向上に努めなければならないと再認識しました。

病院の食事は家と同じように過ごしてもらえるようにすることが大事だと話されました。とくに生活習慣病で入院される方には栄養指導と合わせて入院中の食事で問題点に気がついてもらえること、退院後も継続できるようなヒントが見つかる食事が大事ではないかと考えます。また職員の食生活の改善にも取り組まれ、職員用のカフェテリアのメニューを見直しされたことも伺い、栄養、食生活に関わる者としての役割の大きさを改めて感じました。

アメリカ国内での飛行機の移動も、ちょっとした思い出となりました。後30分で目的地というときに機械トラブルで元の空港に1時間半かけてUターンしたこと、飛行機が飛ばず9時間空港に足止めになったことなど、トラブルに巻き込まれましたが、今となればこれも貴重な経験となりました。日本の航空会社の正確、丁寧さを改めて実感することになりました。

最後にこのような貴重な機会を頂戴しましたことを、深く感謝しお礼申し上げます。そして気持ちを新たに頑張っていきたいと思っております。

よき友くすし

4

## ～服用時間には意味があります！～



近森病院薬剤部 小川 香

薬には、一日に服用する回数や量や時間など指示されており、それを守らないと効果が薄れるばかりか副作用を招く原因にもなりかねません。

今回は服用時間についてふれたいと思います。

☆食後…食事のおよそ30分後までに。

食事のタイミングに合わせて服用すると飲み忘れ防止にもつながり、また胃にも刺激が少ないというメリットがあるため、多くの薬は食後服用となっています。食直後でもOK。

☆食直後…食事のすぐ後に。

痛み止めなどは胃や腸をいため易いので食後すぐに飲んだ方がよいでしょう。

☆食前…食事のおよそ30分前に。

食欲を増進させる薬や吐き気止め、食後だと吸収が悪くなる薬もあります。

☆食直前…食事のすぐ前(5～10分)に。

食後の高血糖を抑える糖尿病の薬など、食直前に服用しないと期待した効果が得られない薬があります。

☆食間…食事と食事の間の空腹時に。

食後およそ2時間が目安。食事中ではないですよ。薬の吸収が食物の影響によって減少する薬や、胃の中に食物がなくなってから服用したほうが効きめがよい胃の粘膜を保護する薬など。

以上のように、服用時間にはそれぞれ意味があります。服用時間によって薬の効果も大きく変わる場合がありますので、決められた用法通りに正しく服用しましょう。

食事がとれないときや、生活リズムの違いによって服用時間の変更が必要な場合もありますので、薬剤師に気軽にご相談下さい。

## 聴診器と私

子どもの頃、ゼーゼー、ヒューヒューという私の呼吸音を黒い聴診器でゆっくりと聴き取ってくれたお医者さん。「あれを胸にあてられるだけで安心したなあ」と思い出します。子どもの頃の私にとって聴診器は、『お医者さん』のアイテムで、特効薬の一つでした。

いざ自分が看護師になり働き始めると、聴診器は患者さんと関わる上

## いつか役目を果たす日が

近森リハビリテーション病院

4階病棟 シニア看護師長 岡部 美枝

で、なくてはならないものとなり、「自分の聴診器を一本くらいもってないと！」と先輩にいわれ、とりあえず購入しました。それから、もう少しいいものを、と買い換えた聴診器。どちらの聴診器も私にとって、とても思い出深いものです。

しかし、今はその役目を果たすことはほとんどなく、一本は娘が「もしも

し、せんせい」のまねをする遊びの道具となり、もう一本は番番を待つかのように引き出しの中にしまわれています。いつかまた、その役目を果たす日が来ることを待ちながら。



## 医療安全の取り組み

### 「理にかなった」対策を立案

近森病院医療安全委員会  
診療情報管理室 武内 仁美



ミスをしてしまった人に、「ちゃんとやりやあ!」、「気合いを入れてやって!」など、一度は言った事がある方もおられるのでは?。

このように人間の精神力や根性に訴える安全対策を「竹やり精神型安全」といい、こうした安全対策には限界があるといわれています。なぜなら、人間が意識を高く持ち続けることには限

界があり、また、注意の持続性は永遠ではないからです。

もともと人間はコンピュータや機械のように正確ではなく、人間本来の特性をたくさん持っています。この特性と自分が置かれた広義の意味での環境とが、上手く合致しないときにヒューマンエラーが生じ、「インシデント」や「アクシデント」へと繋がっていきます。

今後のインシデント、アクシデント防止には、人間本来の特性を理解した上で、ヒューマンエラーの背後要因を明らかにし、人間の精神力や根性に訴えるのではなく「理にかなった」対策を立案し確実に実行していく事が求められています。

これからは、もう一步踏み込んだ取り組みをしていきたいと、現在思案中です。



## 院内旅行で九州の黒川へ

近森病院作業療法士

永野 達郎



これは、院内旅行で九州へ行ったときの写真です。今回、同期3人で九州の様々な観光地や温泉地をめぐるしました。

黒川では温泉をめぐって日々の疲れを流し、リフレッシュすることが出来ました。また、おいしい料理やお酒をたくさんいただき、満足することができました。

皆さんもぜひ行ってみてください。

### ハッスル研修医

## 地域医療活性化は 研修医から

初期研修医

石井 洋介



はじめまして、神奈川県横浜市出身シティーボーイ研修医の市川蟹蔵と申します。

先祖が高知の出であり、そんな縁もあってか高知大学に入学し、今ではすっかり高知大好きになってしまおうたがです。実は就職活動は地元の有名病院を中心に行っておりました、研修システムのしっかりした病院を見る度にこのシステムを高知県でも活かさないだろうかと思っている自分がいました。

昨今研修医の都会流出が問題視されておりますが、高知県で最高の研修が出来るのならば医師の流出も減り、地域医療が生き返ると信じています。そして研修システムを改善するのは当事者である僕たちにしか本当の意味では出来ないのだと考えています。

というわけで、僕の研修裏目標は高知の研修を最高のものにすることにあります。現在高知県全体の研修医が参加するメーリングリストを完成させ、来月にはHPも立ち上げる予定です。話が大きくなっていくにつれ、皆様のご協力が絶対不可欠になると思いますので今後も何卒ご指導よろしくお願ひいたします。

### リレーエッセイ

## 「雨雨」

近森リハビリテーション病院  
医療相談室 吉本 佳代

雨雨

DORADORADO \_\_\_\_\_  
TI \_\_\_\_\_ TATATA \_\_ TA  
TI \_\_\_\_\_ TOTOTO \_\_ TO  
DORADORADO

TI \_\_\_\_\_ TATATA \_\_ TA  
TI \_\_\_\_\_ TOTOTO \_\_ TO

DORADORADO \_\_\_\_\_  
雨は  
ガラスの花

雨は  
いちんち眼鏡をかけて

この詩は、私のお気に入りの詩集から選んだものです。詩集と出会ったのは、大学生の頃、小説に引用されていた詩を読んだことがきっかけでした。それまでは、詩といえば、国語の授業



で朗読した記憶があるかないか分からないくらいでしたが、今では、少し特別な存在となっています。

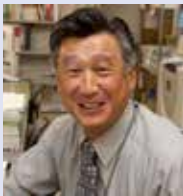
この詩を書いたのは、尾形亀之助さんという方で、昭和のはじめころの詩人です。も

の寂しい気持ちを、「お>これは砂糖の固まりがぬるま湯の中でとけるやうに涙ぐましい」と書かれるような方です。私は詩を読みながら、言葉の持つ意味や表現の深さを考えると同時に、いくつかの風景を思い描くのですが、それは旅先で見た、忘れられない風景を思い出す感覚と似ています。尾形さんの感性に出会えたことを嬉しく思います。

ソーシャルワーカーとして働くようになって、6年が過ぎようとしています。ひろっぱのニューフェイスのコーナーで、「感受性豊かなワーカーでありたい」と書いてから3年が経ちました。日々、勉強の毎日ですが、これからも患者さん・ご家族から語られる言葉を大切に受け止めていきたいと思ひます。

## 安全管理者として表彰される

安全運転管理者の施設用度課森士幸課長が4月23日、交通事故防止などの交通安全の推進に尽力したとして、高知警察署より表彰された。おめでとう



## 編集室通信

先日、友人の劇団に誘ってもらい、久しぶりにお芝居に参加した。地球33番地近くの蔵の中で上演する短編3本立てのお芝居で、今回の役はこてこての「田舎のおばちゃん」。小さな舞台だったが、私にとっては約2年ぶり、楽しく演じさせていた。隠れ家のような蔵へ、たくさんの方に観に来ていただき、終演後はみなさんの笑顔を見送ることができた。お客さんにいっぱい笑って楽しんでいただけると、本当に嬉しい。幸せなことだと思う。(リンダ)

## 図書室便り (2010年4月受入分)

- ・ RUTHER FORD'S Vascular Surgery Seventh Edition Volume.1,2 / Jack L.Crovenwett (他著)
  - ・ TMN Classification of Malignant Tumours Seventh Edition / Leslie Sobin (他編集)
  - ・ AJCC Cancer Staging Manual Seventh Edition / Stephen B.Edge (他編集)
  - ・ 形成外科診療プラクティス①形成外科医に必要な皮膚腫瘍の診断と治療 / 山本有平 (他編集)
  - ・ 形成外科診療プラクティス②皮弁外科・マイクロサージャリーの実際 / 百束比古 (他編集)
  - ・ 形成外科診療プラクティス③顔面骨折の治療の実際 / 平野明喜 (他編集)
  - ・ 腹部のCT 第2版 / 平松京一 (監修)
  - ・ 画像でみる成人先天性心疾患 診断・治療へのアプローチ / 丹羽公一郎 (他編集)
  - ・ 胃癌取扱い規約 2010年3月第14版 / 日本胃癌学会 (編集)
  - ・ フィジカルアセスメント完全ガイド / 藤崎郁
  - ・ フィジカルアセスメントガイドブック 目と手と耳でここまでわかる / 山内豊明
  - ・ 医療用医薬品識別ハンドブック 2010 / 医薬情報研究所 (編集)
  - ・ 安衛法便覧平成21年度 / 労働調査会出版局 (編集)
  - ・ かかりつけ医のためのがん検診ハンドブック～受診率向上をめざして～ / 平成21年度厚生労働省がん検診受診向上アドバイザリーパネル委員会 (編集)
  - ・ 第40回日本看護学会論文集成人看護・看護管理 / (社)日本看護協会看護教育研究センター (編集)
- 《別冊・増刊号》
- ・ 別冊 整形外科57 股関節疾患の治療 up-to-date / 岩本幸英 (編集)
  - ・ 別冊 医学のあゆみ 最新うつ病のすべて / 樋口輝彦 (編集)
  - ・ 別冊 医学のあゆみ アミロイドーシス UP DATE / 山田正仁 (編集)
  - ・ デンタルハイジーン別冊 知っておきたい「力」のこと 気づく・伝える・守る / 牛島隆 (他編著)
  - ・ 外科治療 Vol.102 増刊 マスターしておきたい縫合・吻合の実際 より安全・確実に行うために / 神藤英二 (他著)
  - ・ HEART nursing 春季増刊 3STEPでわかる! 動ける! 伸びる! 心臓カテーテル看護の新人成長おたすけブック / 中川義久 (監修)
  - ・ INFECTION CONTROL 春季増刊 臨床ですぐ使える感染対策エビデンス集+現場活用術 / 矢野邦夫 (他編集)
  - ・ EB NURSING 増刊 I 看護データバンク 医療・看護の今とコトバがわかる / EB NURSING 編集委員・同編集部 (企画・編集)
- 《視聴覚資料》
- ・ Audio-Visual Journal of JUA Vol.16 No2 / 日本泌尿器科学会 (企画・監修)

### 近森会グループ

外来患者数	17,909人
新入院患者数	785人
退院患者数	820人

### 近森病院

平均在院日数	15.23日
地域医療支援病院紹介率	82.05%
救急車搬入件数	393件
うち入院件数	186件
手術件数	420件
うち手術室実施	274件
→うち全身麻酔件数	154件

2010年4月の診療数

企画情報室